HUMAN FIRST



ヒューマンファースト研究所

ヒューマンファースト研究所

調 査 分 析 レ ポ ー ト # 1

2020.06.24

■ 調査概要

調査手法	WEBアンケート調査 ※調査協力機関:株式会社マクロミル
調査期間	2020/5/28 (木) ~ 2020/5/30 (土)
調査対象	2020年4月7日の緊急事態宣言以降に週3日以上在宅勤務を経験した、ビジネスパーソンの男女かつテレワークができる環境にあったオフィスワーカー(店舗工場等の勤務者除く) 居住エリア:関東地方(1都3県+茨城、栃木、群馬)、近畿地方(2府2県+三重県、滋賀県、和歌山県)
調査内容	・属性情報 ・在宅勤務の導入状況 ・在宅勤務におけるパフォーマンスの評価 ・在宅勤務で感じたメリット/デメリット ・緊急事態宣言前後の働き方に対する考え方の変化 ・緊急事態宣言前後のオフィス/サテライトオフィス/在宅勤務に対する考え方の変化

□割付条件

企業規模 	300名未満	300名以上~1000名未満	1000名以上	合計
経営者/管理職	78 ss	78 ss	104 ss	260 ss
一般職員	130 ss	130 ss	104 ss	364 ss
合計	208 ss	208 ss	208 ss	624 ss

HUMAN FIRST



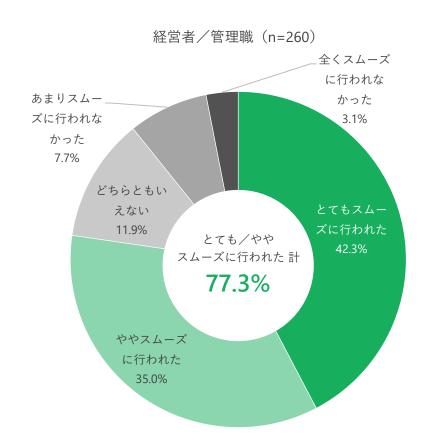
ヒューマンファースト研究所

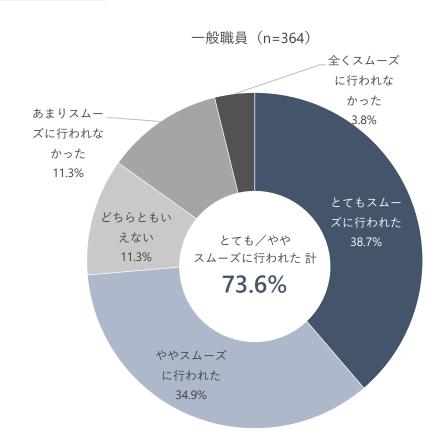
Chapter 1 リモートワーク導入状況・意識変化

■ リモートワーク導入の評価

勤務形態の決定権者である経営者/管理職、およびそれ以外の一般職員のいずれの場合でも、約75%はスムーズに在宅勤務が導入されたと感じている。

□ あなたの勤務先では在宅勤務の導入はスムーズに行われましたか。(SA)

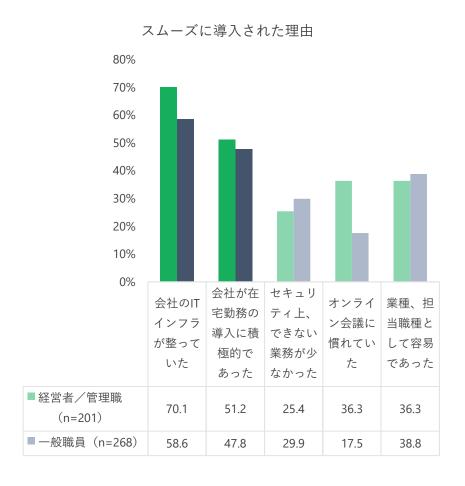


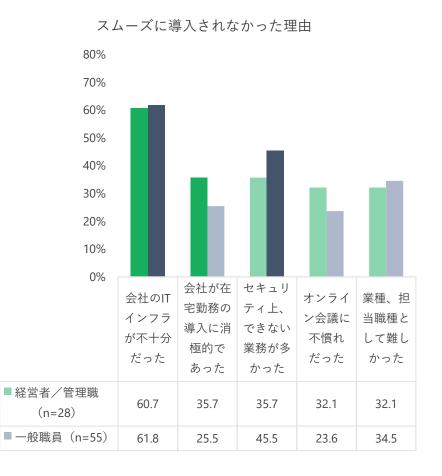


■ リモートワーク導入の評価理由

スムーズに在宅勤務が導入されるかは、**ITインフラや取り組み姿勢**が大きく影響。 現場レベルでは**セキュリティの観点**から導入が阻害される状況も見られる。

□ あなたの勤務先で在宅勤務の導入がスムーズに行われた/行われなかったと回答した理由を教えてください。(MA)

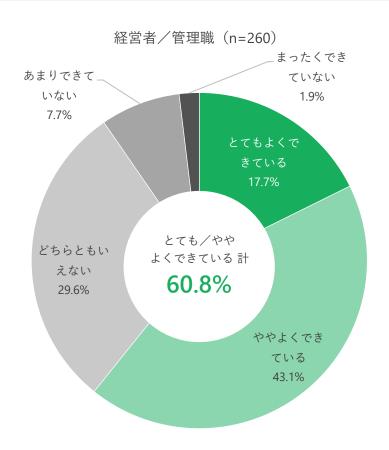


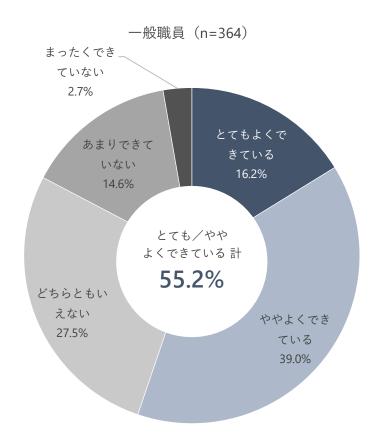


■ リモートワークにおけるパフォーマンスの評価

スムーズに在宅勤務が導入された企業が多かったためか、 **在宅勤務に対するパフォーマンス評価は役職に関わらず約60%と高い**。

□ 緊急事態宣言中、あなたの在宅勤務の業務パフォーマンスについてどのように評価しますか。(SA)

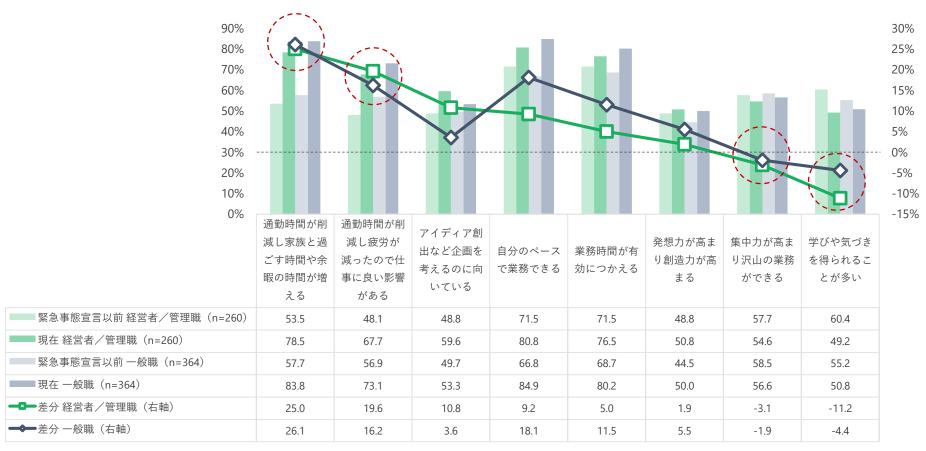




■ 在宅勤務で感じたメリット

移動時間の削減による時間的・フィジカル的な余裕をメリットと感じる一方で、 集中力や学び・気づきといった付加価値は、在宅勤務では感じづらい。

□ 在宅勤務で感じるメリット・デメリットについてあてはまるものをお選びください。(SAMT; TOP2ボックス)



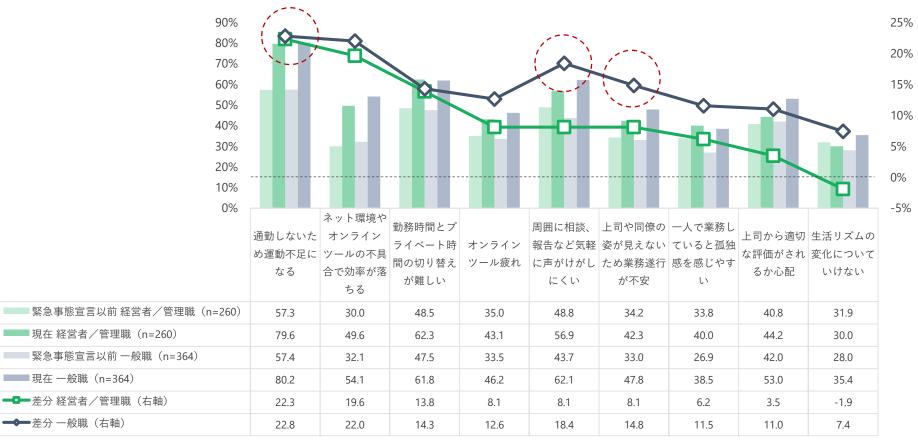
※差分は現在のスコアから緊急事態宣言以前のスコアを差し引いた値。 ※経営者/管理職の差分スコアで降順ソート。

■ 在宅勤務で感じたデメリット

運動不足になるという健康的なデメリットが最も高いほか、

特に一般職員を中心に、チームメンバー同士のコミュニケーションに課題を感じている。

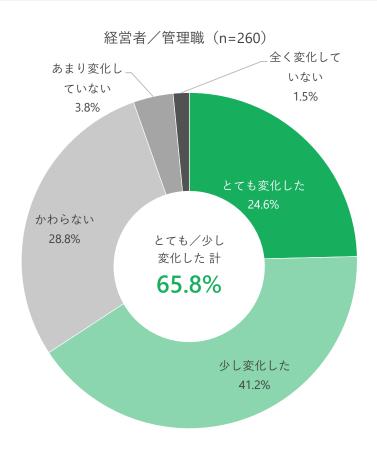
□ 在宅勤務で感じるメリット・デメリットについてあてはまるものをお選びください。(SAMT; TOP2ボックス)

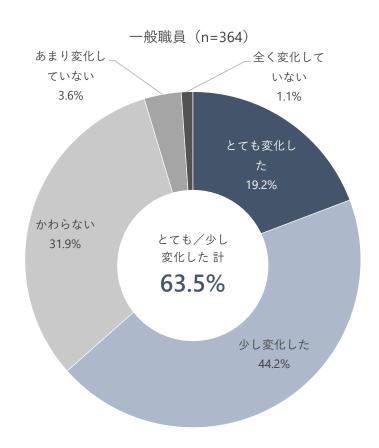


※差分は現在のスコアから緊急事態宣言以前のスコアを差し引いた値。 ※経営者/管理職の差分スコアで降順ソート。 ■ オフィスに求める価値や役割に対する考え方の変化

在宅勤務での業務を経験し、比較的スムーズに導入できたことに伴い、 **主たる拠点となるオフィスに求める価値や役割は変化**。

□ 緊急事態宣言以前と比べあなたが主たる拠点となるオフィスに求める価値や役割についての考え方は変化しましたか。(SA)

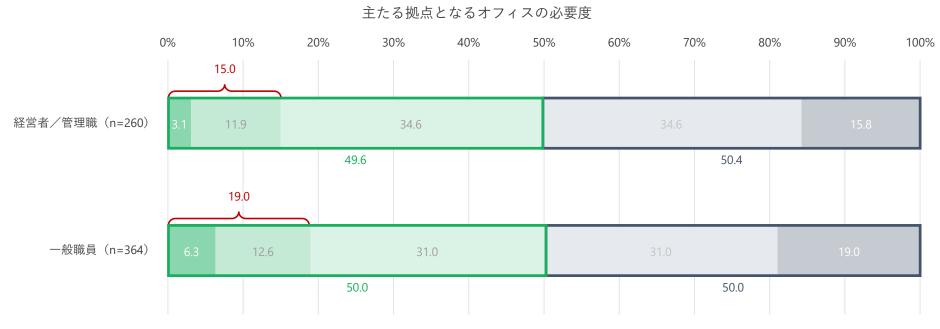




■ 主たる拠点となるオフィスの必要性

在宅勤務の定着を背景に、主たる拠点となるオフィスの必要度は下がるという意見もあるが、 オフィスの必要性は変わらない・高まるという回答は約半数を占めている。

□ 今後、働く場所について在宅テレワークなど様々な働き方が推進されていく中で、主たる拠点となるオフィスの必要度について、 あなたの考えを教えてください。 (SA)



- ■現在と比較して主たる拠点オフィスの必要度はかなり高まる
 ■現在と比較して主たる拠点オフィスの必要度はやや高まる
- ■現在と比較して主たる拠点オフィスの必要度はかわらない ■現在と比較して主たる拠点オフィスの必要度は少し下がる
- ■現在と比較して主たる拠点オフィスの必要度はかなり下がる

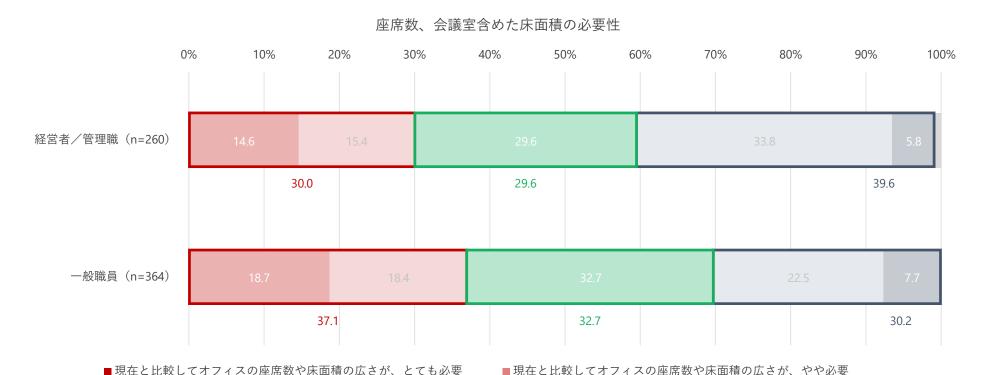
■ 主たる拠点となるオフィスの床面積の必要性

■現在と比較してオフィスの座席数や床面積の広さは、同じでよい

■現在と比較してオフィスの座席数や床面積の広さは、まったく必要ない ■その他

床面積の広さは、必要である/同じでよい/必要ない、それぞれ3割程度で**同等のスコア**。 経営者/管理職は必要ないという意見が、逆に一般職員は必要という意見が若干強い傾向。

□ 今後、働く場所について在宅テレワークなど様々な働き方が推進されていく中で、あなたの主たる拠点となるオフィスの座席数、 会議室含めた床面積の必要性について、あなたの考えを教えてください。(SA)

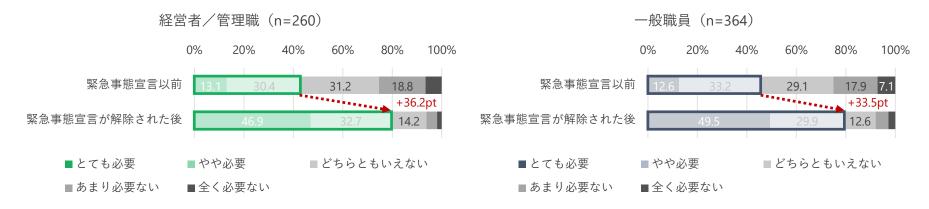


■現在と比較してオフィスの座席数や床面積の広さは、あまり必要ない

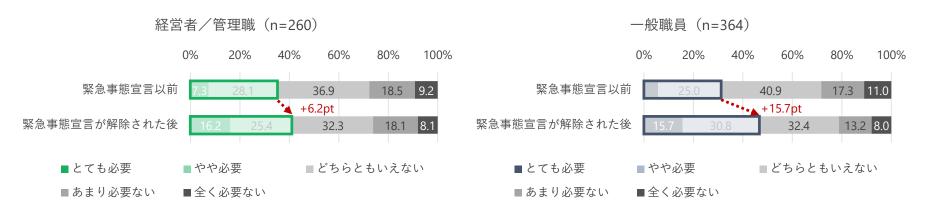
■ 在宅勤務およびサテライトオフィスの必要性

主たる拠点となるオフィスの必要性が下がる一方で、緊急事態宣言を機に、 在宅勤務・サテライトオフィス導入の必要性は上昇した。

□ 在宅勤務の必要性についてあなたの考えに一番近いものを教えてください。 (SA)



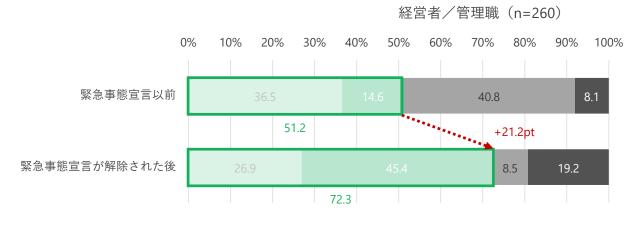
□ 自社のオフィス以外の拠点としてサテライトオフィス導入の必要性についてあなたの考えに一番近いものを教えてください。(SA)



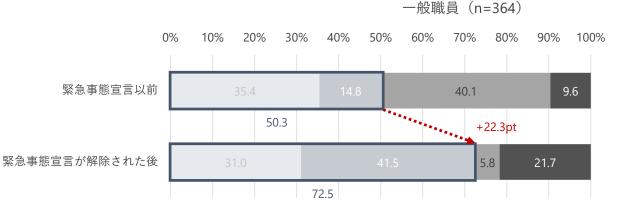
■ 働き方に対する考え方の変化

今後、本社や支社オフィスを拠点に在宅勤務やサテライトオフィスを活用したいと 回答した「オフィス分散志向層」は役職に関わらず増加、70%以上を占めている。

□ 本社や支社オフィスを拠点に出社して働くということについてあなたの考えに一番近いものを教えてください。(SA)



- ■本社や支社オフィスを拠点に基本に出社しながら時々 在宅勤務やサテライトオフィス活用がよい
- ■本社や支社オフィスを拠点に時々出社し基本は在宅勤 務やサテライトオフィス活用がよい
- ■本社や支社オフィスを拠点に毎日出社して働くべき
- ■本社や支社オフィスを拠点に出社して働く必要性を全 く感じない



- ■本社や支社オフィスを拠点に基本に出社しながら時々 在宅勤務やサテライトオフィス活用がよい
- ■本社や支社オフィスを拠点に時々出社し基本は在宅勤 務やサテライトオフィス活用がよい
- ■本社や支社オフィスを拠点に毎日出社して働くべき
- ■本社や支社オフィスを拠点に出社して働く必要性を全 く感じない

HUMAN FIRST



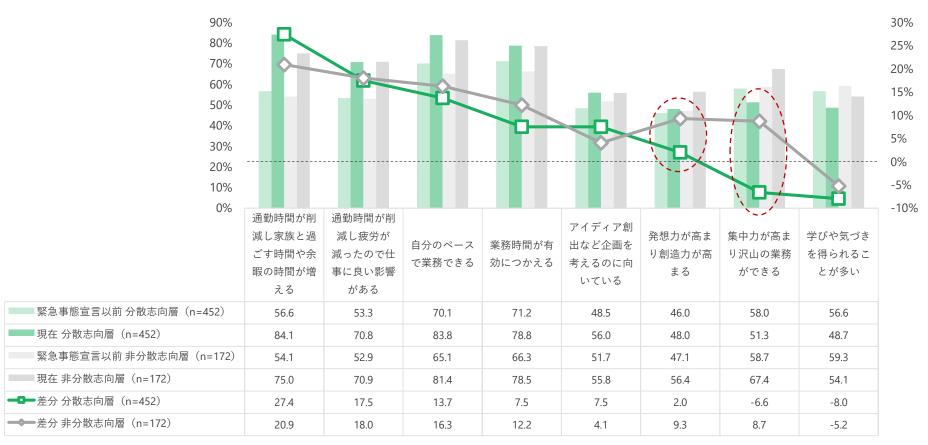
ヒューマンファースト研究所

Chapter 2 オフィス分散志向層のニーズ抽出

■ 在宅勤務で感じたメリット:オフィス分散志向による比較

オフィス分散を志向する回答者とそれ以外の回答者では、 在宅勤務に**集中力や発想力の向上を感じたかどうかにギャップが見られる**。

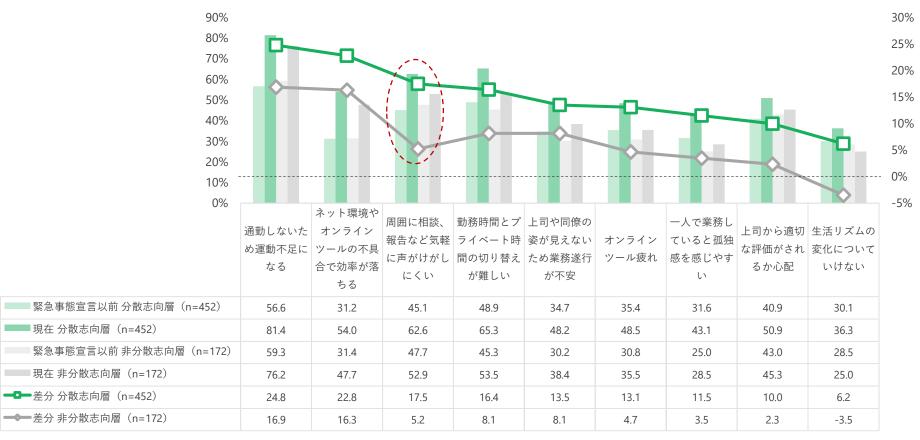
□ 在宅勤務で感じるメリット・デメリットについてあてはまるものをお選びください。(SAMT; TOP2ボックス)



※分散志向層は緊急事態宣言後、本社や支社オフィスを拠点に在宅勤務やサテライトオフィスを活用したいと回答した回答者、非分散志向層はそれ以外の回答者。 ※差分は現在のスコアから緊急事態宣言以前のスコアを差し引いた値。分散志向層の差分スコアで降順ソート。 ■ 在宅勤務で感じたデメリット:オフィス分散志向による比較

オフィス分散を志向する回答者はそれ以外の回答者に比べて、**在宅勤務でのデメリットを** 強く感じており、特にチームメンバー同士のコミュニケーションに課題を感じている。

□ 在宅勤務で感じるメリット・デメリットについてあてはまるものをお選びください。(SAMT; TOP2ボックス)



※分散志向層は緊急事態宣言後、本社や支社オフィスを拠点に在宅勤務やサテライトオフィスを活用したいと回答した回答者、非分散志向層はそれ以外の回答者。 ※差分は現在のスコアから緊急事態宣言以前のスコアを差し引いた値。分散志向層の差分スコアで降順ソート。

■ 在宅勤務における個人のパフォーマンス

時間的な余裕が生まれ、ワークライフバランスは大幅に向上した。

一方で、集中力や効率性、コミュニケーションは下がったと感じた意見も多い。

□ 緊急事態宣言以前と比べ現在の在宅勤務における**あなたの個人としての**業務パフォーマンスについて教えてください。(SA)



※オフィス分散志向層(緊急事態宣言後、本社や支社オフィスを拠点に在宅勤務やサテライトオフィスを活用したいと回答した回答者)ベース。

■ 在宅勤務におけるチームのパフォーマンス

個人のパフォーマンスに比べると、肯定的な意見が全体として少ない。

特に、コミュニケーションについては約半数がパフォーマンスの低下を感じている。

□ 緊急事態宣言以前と比べ現在の在宅勤務における**チームとしての**業務パフォーマンスについて教えてください<u>。(SA)</u>

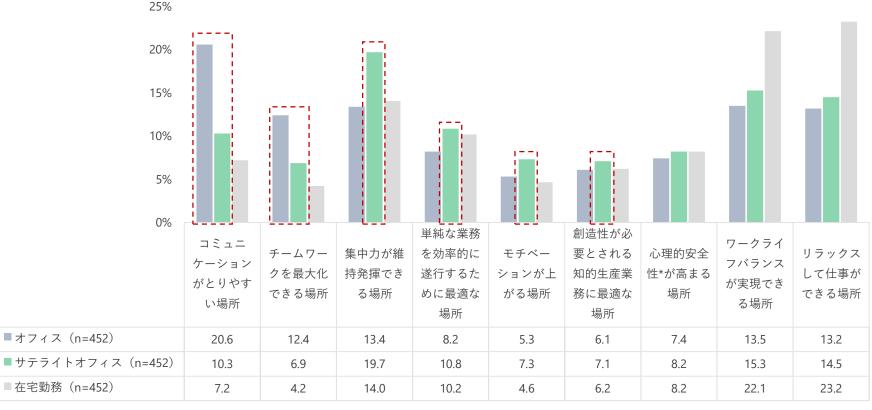


※オフィス分散志向層(緊急事態宣言後、本社や支社オフィスを拠点に在宅勤務やサテライトオフィスを活用したいと回答した回答者)ベース。

■ オフィスに求める価値・役割

在宅勤務では最大化することが難しい、**集中力や効率性、モチベーションや創造性、** コミュニケーションやチームワークを高める機能がオフィスに求められる。

□ あなたがオフィス/サテライトオフィス/在宅勤務に求める価値や役割について近いものはどれですか。 優先順位の高いものを2つ選んでください。(SAMT)



※オフィス分散志向層(緊急事態宣言後、本社や支社オフィスを拠点に在宅勤務やサテライトオフィスを活用したいと回答した回答者)ベース。
※現在において優先順位が1番目または2番目に高いと答えた回答者のスコア。

■ 調査分析レポート #1 サマリー

Chapter 1 リモートワーク導入状況・意識変化

- ・ITインフラや働き方改革に積極的な企業を中心に在宅勤務は比較的スムーズに導入。
- ・在宅勤務でのパフォーマンスは一定の評価がされ、**時間的・フィジカル的な余裕が** 生まれるメリットもあったが、特に一般職員はコミュニケーション不足も感じている。
- ・コロナ禍を機に**主たる拠点となるオフィスに対する考え方は変化**。 オフィスの必要度は下がるという回答もあるが、**約半数は変わらない・上がると回答**。
- ・相対的に在宅勤務やサテライトオフィスのニーズが高まり、 今後、オフィス分散を志向する層は70%以上を占める。

Chapter 2 オフィス分散志向層のニーズ抽出

- ・オフィス分散志向層はそれ以外の回答者に比較して、在宅勤務で**集中力や創造性の** 高まりを感じることができなかったり、チーム内のコミュニケーションなどを中心に デメリットを強く感じている。
- ・パフォーマンスとしてはワークライフバランスは改善するものの、集中力や効率性といった個人の付加価値とコミュニケーションをとることによるチームの生産性には下がったと感じる回答も多くみられた。
- ・オフィスやサテライトオフィスには、集中力や効率性、モチベーションや創造性など 個人のパフォーマンスと、コミュニケーションやチームワークといったチームの パフォーマンスを高める場所としての価値や役割が求められている。